

学習課題（小学校 5 年生）



【国語】計画を立てて、少しずつ取り組んでいきましょう

＜学習内容＞

◆「漢字の成り立ち」（教科書 34～35 ページ）に取り組めます。

- (1) 教科書を読んで、4 つの漢字の成り立ち（①象形文字・②指示文字・③会意文字・④形声文字）について、ノートや取組シートに書き写しましょう。
- (2) 35 ページの㊶と㊷を覚えて、ノートや取組シートに書きましょう。
自宅に漢字辞典があれば、確かめてみましょう。
※漢字辞典が自宅にない時は、予想を書きおき、学校が始まった
ら、学校の漢字辞典で確認してみましょう。

◆「季節の言葉 1 春の空」（教科書 36～37 ページ）に取り組めます。

- (1) 自分は「春」のどんなところが好きかを考え、ノートや取組シートに書きましょう。
- (2) 36 ページの「^{まくらのそうし}枕^{こぶん}草子」の古文を 3 回音読し、言葉の響きやリズムを味わいましょう。P36 の^{げんだい ごやく}現代語訳と古文と読み比べて、表現された季節感を味わいましょう。
- (3) 37 ページの春に関わる言葉や俳句を読みましょう。
- (4) 自分が春らしいと感じるものや様子を「枕草子」の形式「春は、○○」をまねして現代語の文章に^{あらわし}表し、ノートや取組シートに書いてみましょう。

(例)
春は、風。
まどから入る、
のどかな風に吹かれ
て、ねむるのは心地
よい。
桜の花が、風に吹か
れるのを見るのも美
しい。

◆「きいて、きいて、きいてみよう」（教科書 38～43 ページ）で学習する予定の新出漢字をノートや取組シートに練習します。（読み方や筆順などは、286 ページに載っています。）

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・「漢字の成り立ち」では、4 年生で学習した漢字辞典の使い方の復習も大切になります。御自宅に漢字辞典がある場合、自分の名前の漢字など、身近な漢字の成り立ちを調べてみるよう声をかけてあげると、学習が広がっていきます。
- ・「季節の言葉 1 春の空」では、春についての気づきやその理由について感想を伝え、ほめてあげてください。